

新刊紹介 = 迫図書館 = ☎0220 (22) 9820

■大人向け



「40 翼ふたたび」
石田衣良 / 著

40歳人生後半、胸を張れ！著者が初めて描く同世代のドラマ。



「英雄先生」
東直巳 / 著

夢に描いたボクサーをあきらめ、高校教師になった池田は…。



「お子さまランチとおべんとう」
吉田瑞子 / 著

手早く簡単に作れて、子どもが喜ぶ工夫がいっぱいのメニュー集。

■子ども向け



「はじめまして」
新沢としひこ / 著

出会いの喜びを教えてくれる「はじめまして」のごあいさつ。



「やまなしもぎ」
平野直 / 著

三兄弟が順番に病気の母のために山梨もぎにいくおはなしです。



「なぞのおたから大さくせん」
原ゆたか / 著

ゾロリたちは、無事おたからを手に入れることができるのか。

※たくさん新刊が入りました。詳しくは市ホームページをご覧ください。

わが家のアイドル

No.12



松永 格くん
(中田町・南加賀野)
平成16年6月5日生まれ
(1歳)
融さんの次男

アンパンマンが好きな格くんは、3人兄弟の末っ子で甘えん坊さんです。お母さんが作ったおにぎりをおいしそうに食べます。電話の受話器をいたずらするので、松永家はいつも話中です。



佐藤 日向ちゃん
(登米町・東針田)
平成16年8月20日生まれ
(1歳)
真治さんの長女

日向ちゃんは外で遊ぶことが大好きで、いつも両親と一緒にボール遊びをしたり、近所の公園でブランコしたりしています。家の牛に餌を与えるなど、お手伝いが好きな日向ちゃんです。



阿部 修士くん
(豊里町・加々巻)
平成15年4月23日生まれ
(2歳)
貴宏さんの長男

サッカーと新幹線が大好きな修士くん。最近は新幹線の名前をたくさん言えるようになり、「マックス」「はやて」がお気に入りです。サンマが好物で魚屋さんに行くとき必ずサンマをねだります。



千葉 真悠子ちゃん
(南方町・北大畑)
平成15年5月22日生まれ
(2歳)
和幸さんの長女

アイスクリームが好きな真悠子ちゃんは、1日1個は必ず食べます。外で遊ぶことが大好きで、自転車に乗ったり公園に行ったりしています。歌を歌いながらダンスをすることが得意です。



市民の広場のコーナーでは、掲載を希望する人や情報を募集しています。広報係まで情報をお寄せください。
■総務部総務課広報係
☎987・0511 登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1
☎0220(22)2090 FAX0220(22)9164
Eメール koho@city.tome.nyag.jp

まちの若い衆 No.12



及川 由紀さん (22歳)

おいかわ ゆき
迫町・大形区・しし座・O型

写真をたくさん撮って今という瞬間を思い出に残したい

- 身長と血液型 156センチ
現在 迫町のウジエ調剤薬局の事務をしています。
自分の性格 いろいろなことに関して考え過ぎて気にするタイプです。
休日 友達と一緒に仙台へよく洋服を買いに出掛けます。家にいるときは家の仕事を手伝っています。
趣味は 洋服が好きなので、自分の好みや季節に合わせた色やデザインの洋服を集めています。また、小学校から始めた習字や社会人になってから覚えた着付けの講師の資格免許を持っています。
理想の男性像 家族を大切にしてくれる人がいいですね。
結婚は 今のところは考えていませんが、30歳になる前にはしたいと思っています。
今やってみたいこと 最近時間があればアルバムを広げて、昔の写真を見ながら思い出を振り返っています。今この瞬間を思い出に残したいので、写真を撮ることに挑戦したい。



鈴木 涼君 (北方小5年)
(迫町・古宿 三貴男さん方)

「守備が好きでゴロが得意。バッティングはあまり打てないので苦手です」と話す涼君。小学2年生からスポーツ少年団の野球を続けていて、北方小フアイトーズのセカンドで足が速い左利きの1番打者として活躍しています。練習日は火・木曜日の週2回。休みの日にはお父さんと一緒に家でキャッチボールを

後足堅守のプロ野球選手に

ぼくらの夢 No.12

文芸

作品募集!

●俳句、短歌、川柳 いずれか1カ月1作品。締め切りは毎月10日。住所、氏名、電話番号を記入してご応募ください。
●応募者多数の場合は抽選で掲載します。
●短歌・俳句・川柳の隔月掲載となります。

短歌

- 苦勞など思ひもせずには育て来て 今日成人の孫娘の晴れ姿
ナツメロを聞けば映画を見る如し しみじみと胸に迫るものあり
道凍り市民バス遅れすみませんと 運転手の言葉温かし
幼な友嫁に連れられ訪ねきて 不幸語りぬ聞くのみ吾は
ド力雪で餌を漁る雀子を 犬甲高に追い廻し居る
寒過ぎて出窓に咲けるシクラメン 鉢にあふるる一隅の春
山茶黄の黄花ほつほつ咲きそめて ひそかに春を知らざるるなり
杉小立透きてさし来る朝光を 居間に受けたる春の間近く
節分は真冬日となり我一人 遠く佳める子等に文書く
阿部ふみ子(米山)
千葉たかよ(米山)
鈴木ふみ子(中田)
加藤あや子(中田)
本宮やつの(中田)
阿部 洋子(津山)
宮崎キエ子(東和)
菅原たえ子(中田)